

学年・教科	第2学年	音楽	担当者	田口 桜子
学習目標 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。				
指導計画		学習内容		
【表現】 ・校歌 ・アルトリコーダー ・リズムパターンをつくらう 【鑑賞】 ・交響曲第5番 ・オーケストラについて	1 学 期	【表現】 ○正しい姿勢で堂々と歌い、美しい響きを作ることを身につける。 ○基本的なリコーダーの連想方法を習得し、正しい姿勢で演奏する。 ○速度や強弱などを表す記号、標語について学び、より深く曲を理解するための手立てを身につける。 【鑑賞】 ○音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きによる特質や雰囲気を感じて鑑賞する。		
【表現】 ・合唱祭 ・浜辺のうた ・創作 【鑑賞】 ・ポレロ ・雅楽	2 学 期	【表現】 ○声部の役割を意識して、合唱表現を工夫する。 ○合唱の工夫を通して、音楽記号や用語を理解する。 ○速度や強弱などを表す記号、標語について学び、より深く曲を理解するための手立てを身につける。 【鑑賞】 ○音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きによる特質や雰囲気を感じて鑑賞する。 ○曲想や雰囲気とかかわらせて、調や三連符などの用語や音符を理解して聴く。		
【表現】 ・校歌 ・君が代 ・箏 【鑑賞】 ・郷土の音楽や芸能	3 学 期	【表現】 ○歌詞の内容や曲想にふさわしい歌唱表現を工夫する。 ○楽器の音色の特徴を生み出す発音の仕組みや奏法を理解して演奏する。 【鑑賞】 ○日本音楽の豊かな響きや表現を味わいながら鑑賞する。		
観点別評価の観点と主な方法について ○ 知識・技能：定期テスト（知識・技能）の問題、授業の様子や実技テストの様子 等 ○ 思考・判断・表現：定期テスト（思考・判断・表現の問題）、授業の様子や実技テストの様子 等 ○主体的に学習に取り組む態度：課題・学習カード等の提出や取り組み方(くり返し学習の状況) 等				
学習のアドバイス ①授業に集中しましょう・・・ 授業に集中して取り組みましょう。授業で扱う音楽だけでなく、他の人の演奏や自分の演奏など、常によく聴くことを大切にしましょう。 ②教科書や楽譜にたくさん書き込みをしましょう・・・ 楽譜には、表現に必要なことが多く書かれています。それらを意識して演奏するためにも、自分で気づいたことを色分けし、書き込みましょう。 ③楽しむことを忘れずに！！				
使用教材 教科書、鑑賞の資料、コーラスフェスティバル、アルトリコーダー、ファイルなど				